

女は旅へ？

女は生まれ故郷を離れて旅をし、男は生まれた場所に離れずにいる。これは、人類の遠い祖先、二足歩行を始めた頃の猿人の話です。

英米や南アフリカなど6カ国の研究チームの研究によると、180万年以上前のアウストラロピテクス・アフリカヌス、バラントロプス・ロブストスという猿人19体の歯を調べた結果、群れを離れて旅をしたのは女の方で、男は生まれた場所に離れずにといたらしいということが分かりました。

ゴリラは、ボス以外の雄は、群れを離れて生活しますが、最も人間に近いとされるチンパンジーは雌の方が群れから離れて行動するといわれていますので、180万年前の猿人はチンパンジーに近い行動を取っていたこととなります。

180万年以上も前の人類の行動パターンが分かってしまうという現代科学の凄さに感心すると同時に、太古の女性も今と変わらず行動的だったということに妙に納得させられます。今や地球上は、69億人余りの人々で覆い尽くされていますが、これも元を正せば女性の行動力のお陰ということになるのでしょうか。

自分の回りの状況を見ると、男というものは自分のテリトリーに縛られていることが多い、と感じることがしばしばです。

男は、多くは会社や組織という枠組みに守られており、その中で安泰した生活を送っていますが、例えば定年などで、一歩会社などの組織から出されると、「濡れ落ち葉」という言葉があるように、居場所のない不安定な状況に陥ってしまうということが良くあります。会社では存在感のあった人が、定年後、うち萎れて家に引き籠もっている図は何ともやりきれませんね。

それに比べて、女性の方は、私の家内を見ていてつくづくと思いますが、色んなネットワークを持っていて、非常に活動的です。組織のしがらみがない分、自由ということかも知れません。それと、何より旅行好きなのは驚かされます。財団法人日本交通公社の推計では、昨年の20代女性の出国率は、24

・42%だったのに対して同じ20代男性の出国率は12・78%であり、しかも3年連続減少しています。意識調査でも若手男性は受け身の姿勢が目立ち、外出より家で楽しむ「巣ごもり」傾向が海外旅行にも及んでいるようです。

180万年前もこうだったのでしょうか。そんなことはないですね。

全く話は変わりますが、ある婚活サイトが実施した意識調査によると、「インターネットサイトで知り合った人と実際に会う」と答えた女性が8割を超えたのに対して男性の方は6割ということで、こちらの方でも、積極的な女子に対して控えめな男子という傾向が明らかになったということです。

「世の男達よ、頑張れ！」と、エールを送りたくくなります。

(塾頭 吉田 洋一)